

# 文学と語学教育——佛教大学英米学科 1 回生 対象の意識調査の分析 (2)

松 本 真 治

## 1. はじめに

文学と語学が結びつくのか、それとも文学はあくまでも語学とは切り離されたものとして教えられるべきなのか、そもそも英米学科生には文学の知識などはないのであろうか。文学と語学教育のあり方の方向づけを見据えるために、2007年度より英米学科新入生を対象にアンケート調査を実施している<sup>(1)</sup>。2007年4月10日に英米学科1回生を対象に行った文学や語学に対する意識調査では、自由記述方式のアンケートであったが、2008年度からは量的に測定できる選択方式のアンケートに変更した。本稿では2008年度から2010年度の調査結果を比較し、年度によって学生の意識に違いが見られるのかを検討する。

2007年度と同様に、アンケート調査は英米学科1回生必修科目である「英米文学入門1 H」(春学期)の第1回目の授業時に実施している。この授業には3回生編入生や再履修の2回生以上の学生も受講しているが、大学での英米文学系の授業をまだ受講したことのない1回生の回答に限定して分析する。

## 2. アンケート方法

2007年度のアンケート項目を受け継ぎながら、以下のような形式で実施した。

1) 学年について

1. 1 回生    2. 2 回生    3. 3 回生    4. 3 回生（編入生）    5. 4 回生以上

（一つだけ丸をつけてください）

2) 英米文学は勉強すべきだと思いますか？ その理由も書いてください。

1. そう思う    2. どちらかと言えばそう思う    3. どちらとも言えない  
4. どちらかと言えばそう思わない    5. そう思わない

（一つだけ丸をつけてください）

3) 英語を読むとき、和訳は必要ですか？ その理由も書いてください。

1. そう思う    2. どちらかと言えばそう思う    3. どちらとも言えない  
4. どちらかと言えばそう思わない    5. そう思わない

（一つだけ丸をつけてください）

4) 英会話は必要ですか？ その理由も書いてください。

1. そう思う    2. どちらかと言えばそう思う    3. どちらとも言えない  
4. どちらかと言えばそう思わない    5. そう思わない

（一つだけ丸をつけてください）

5) 次の英米の作家・作品について [①知っている ②聞いたことはある ③知らない] をつけてください。

<省 略>

6) 文学（日本・外国を問わず）は好きですか？どんな文学ですか？その理由も書いてください。

1. 好き    2. どちらかと言えば好き    3. どちらとも言えない  
4. どちらかと言えば好きではない    5. 好きではない

（一つだけ丸をつけてください）

7) 映画は好きですか？どんな映画ですか？その理由も書いてください。

1. 好き    2. どちらかと言えば好き    3. どちらとも言えない  
4. どちらかと言えば好きではない    5. 好きではない

（一つだけ丸をつけてください）

8) 日本語字幕なしの英語音声だけの映画は好きですか? その理由も書いてください。

1. そう思う 2. どちらかと言えばそう思う 3. どちらとも言えない  
4. どちらかと言えばそう思わない 5. そう思わない

(一つだけ丸をつけてください)

9) 英語を習得するためには「読む」という作業は必要だと思いますか? その理由も書いてください。

1. そう思う 2. どちらかと言えばそう思う 3. どちらとも言えない  
4. どちらかと言えばそう思わない 5. そう思わない

(一つだけ丸をつけてください)

10) 英語で書かれた本は好きですか? その理由も書いてください。

1. 好き 2. どちらかと言えば好き 3. どちらとも言えない  
4. どちらかと言えば好きではない 5. 好きではない

(一つだけ丸をつけてください)

11) 授業以外で英語で書かれたものを読みますか? その理由も書いてください。

1. 日常的に読む 2. ときどき読む 3. 読まない

(一つだけ丸をつけてください)

12) 授業以外で英語で書かれたものを読みたいですか? その理由も書いてください。

1. そう思う 2. どちらかと言えばそう思う 3. どちらとも言えない  
4. どちらかと言えばそう思わない 5. そう思わない

(一つだけ丸をつけてください)

13) 英語で書かれたものを読むなら、どんなものが読みたいですか? 次の選択肢から選んで丸をつけてください。(複数回答可)

1. 小説 2. 詩 3. 新聞 4. 雑誌 5. ノンフィクション 6. 歴史  
7. リーダー [やさしい英語で書き直された本] 8. TOEIC / 英検等の試験対策問題

14) 英語で書かれた文学を読むことは英語の習得に役立つと思いますか？ その理由も書いてください。

1. そう思う 2. どちらかと言えばそう思う 3. どちらとも言えない  
4. どちらかと言えばそう思わない 5. そう思わない

(一つだけ丸をつけてください)

15) 目標とする英語力はどの程度ですか？そのためにどんな学習が必要だと思いますか？

16) 英米学科生に英米文学の基礎知識は必要だと思いますか？その理由も書いてください。

1. そう思う 2. どちらかと言えばそう思う 3. どちらとも言えない  
4. どちらかと言えばそう思わない 5. そう思わない

(一つだけ丸をつけてください)

### 3. アンケート結果

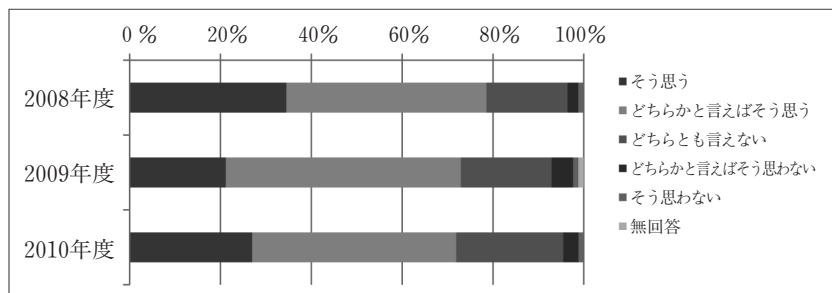
本稿では、英米の作家・作品に関する項目（No.5）や自由記述項目（No.15）、さらに各項目の自由記述欄の結果については割愛し、順位レベルの結果についてのみ報告する。

各項目について年度ごとに比較し、年度の間に差があるかどうかを検定（クラスカル・ウォリス検定、 $\chi^2$ 検定）する<sup>(2)</sup>。

	実施日	在籍者数	回答者数
2008年度	4月15日	90	84
2009年度	4月14日	86	85
2010年度	4月13日	93	89

①英米文学は勉強すべきだと思いますか？

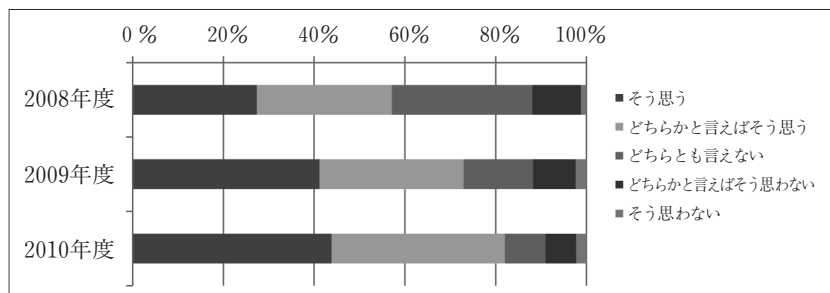
	そう思う	どちらかと言え ばそう思う	どちらとも 言えない	どちらかと言え ばそう思わない	そう思わない
2008年度	29 34.5%	37 44.0%	15 17.9%	2 2.4%	1 1.2%
2009年度	18 21.2%	44 51.8%	17 20.0%	4 4.7%	1 1.2%
2010年度	24 27.0%	40 44.9%	21 23.6%	3 3.4%	1 1.1%



クラスカル・ウォリス検定	
同順位補正 P 値 (上側確率)	0.2308

②英語を読むとき、和訳は必要ですか？

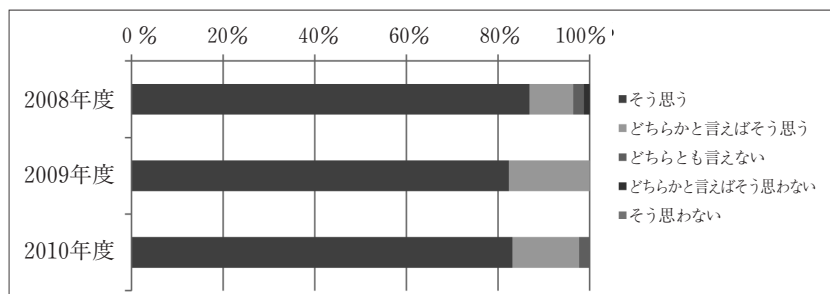
	そう思う	どちらかと言え ばそう思う	どちらとも 言えない	どちらかと言え ばそう思わない	そう思わない
2008年度	23 27.4%	25 29.8%	26 31.0%	9 10.7%	1 1.2%
2009年度	35 41.2%	27 31.8%	13 15.3%	8 9.4%	2 2.4%
2010年度	39 43.8%	34 38.2%	8 9.0%	6 6.7%	2 2.2%



クラスカル・ウォリス検定	
同順位補正 P 値（上側確率）	0.0086

### ③英会話は必要ですか？

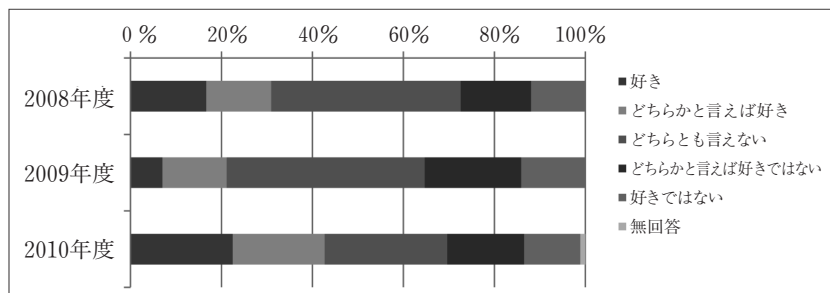
	そう思う	どちらかと言えばそう思う	どちらとも言えない	どちらかと言えばそう思わない	そう思わない
2008年度	73 86.9%	8 9.5%	2 2.4%	1 1.2%	0 0.0%
2009年度	70 82.4%	15 17.6%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
2010年度	74 83.1%	13 14.6%	2 2.2%	0 0.0%	0 0.0%



クラスカル・ウォリス検定	
同順位補正 P 値（上側確率）	0.7512

④文学（日本・外国は問わず）は好きですか？

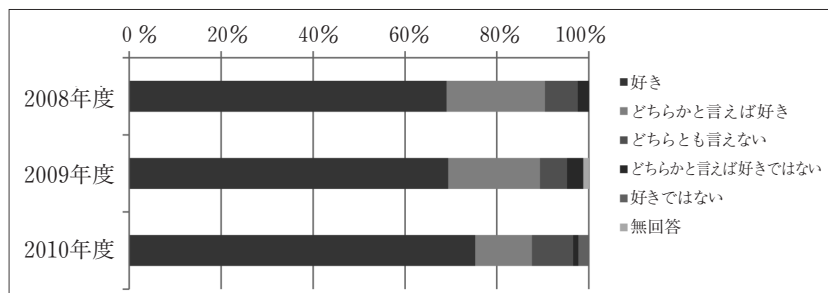
	好 き	どちらかと言え ば好き	どちらとも 言えない	どちらかと言え ば好きではない	好きではない
2008年度	14 16.7%	12 14.3%	35 41.7%	13 15.5%	10 11.9%
2009年度	6 7.1%	12 14.1%	37 43.5%	18 21.2%	12 14.1%
2010年度	20 22.5%	18 20.2%	24 27.0%	15 16.9%	11 12.4%



クラスカル・ウォリス検定	
同順位補正 P 値（上側確率）	0.0503

⑤映画は好きですか？

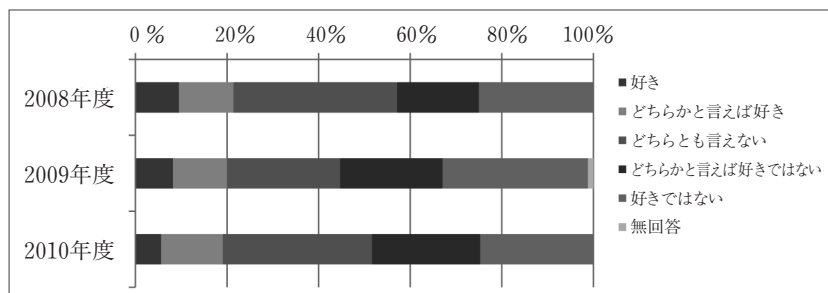
	好 き	どちらかと言え ば好き	どちらとも 言えない	どちらかと言え ば好きではない	好きではない
2008年度	58 69.0%	18 21.4%	6 7.1%	2 2.4%	0 0.0%
2009年度	59 69.4%	17 20.0%	5 5.9%	3 3.5%	0 0.0%
2010年度	67 75.3%	11 12.4%	8 9.0%	1 1.1%	2 2.2%



クラスカル・ウォリス検定	
同順位補正 P 値（上側確率）	0.7741

⑥日本語字幕なしの英語音声だけの映画は好きですか？

	好 き	どちらかと言 えば好き	どちらとも 言えない	どちらかと言 えば好きではない	好きではない
2008年度	8 9.5%	10 11.9%	30 35.7%	15 17.9%	21 25.0%
2009年度	7 8.2%	10 11.8%	21 24.7%	19 22.4%	27 31.8%
2010年度	5 5.6%	12 13.5%	29 32.6%	21 23.6%	22 24.7%

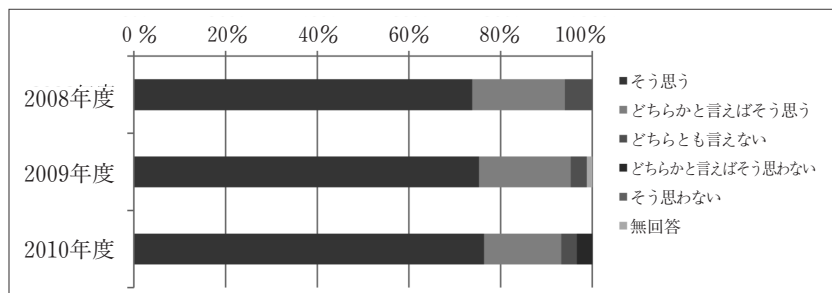


クラスカル・ウォリス検定	
同順位補正 P 値（上側確率）	0.4766



⑦英語を習得するためには「読む」という作業は必要だと思いますか？

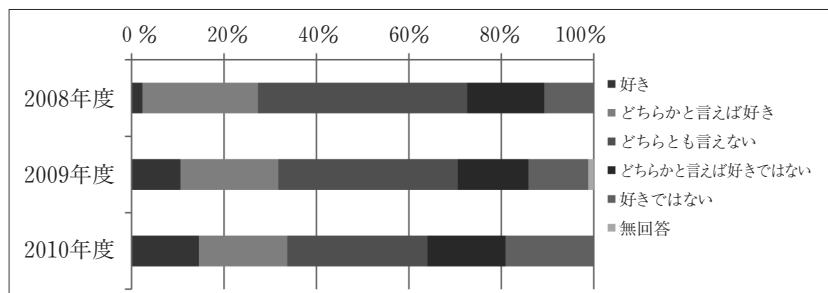
	そう思う	どちらかと言え ばそう思う	どちらとも 言えない	どちらかと言え ばそう思わない	そう思わない
2008年度	62 73.8%	17 20.2%	5 6.0%	0 0.0%	0 0.0%
2009年度	64 75.3%	17 20.0%	3 3.5%	0 0.0%	0 0.0%
2010年度	68 76.4%	15 16.9%	3 3.4%	3 3.4%	0 0.0%



クラスカル・ウォリス検定	
同順位補正 P 値 (上側確率)	0.9093

⑧英語で書かれた本は好きですか？

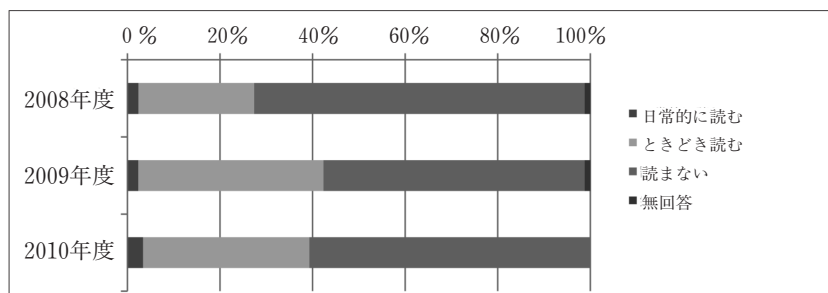
	好 き	どちらかと言え ば好き	どちらとも 言えない	どちらかと言え ば好きではない	好きではない
2008年度	2 2.4%	21 25.0%	38 45.2%	14 16.7%	9 10.7%
2009年度	9 10.6%	18 21.2%	33 38.8%	13 15.3%	11 12.9%
2010年度	13 14.6%	17 19.1%	27 30.3%	15 16.9%	17 19.1%



クラスカル・ウォリス検定	
同順位補正 P 値（上側確率）	0.8704

⑨授業以外で英語で書かれたものを读みますか？

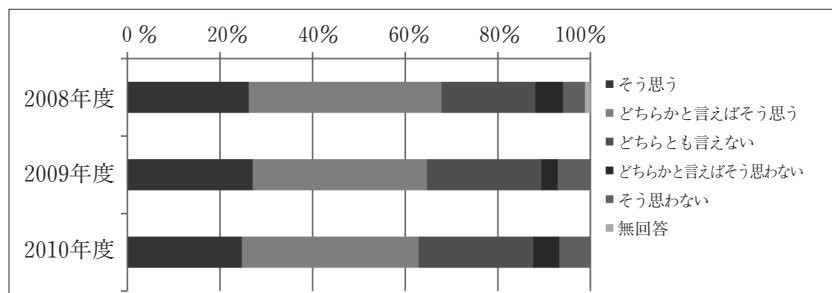
	日常的に読む	ときどき読む	読まない
2008年度	2	21	60
	2.4%	25.0%	71.4%
2009年度	2	34	48
	2.4%	40.0%	56.5%
2010年度	3	32	54
	3.4%	36.0%	60.7%



クラスカル・ウォリス検定	
同順位補正 P 値（上側確率）	0.1185

⑩授業以外で英語で書かれたものを読みたいですか？

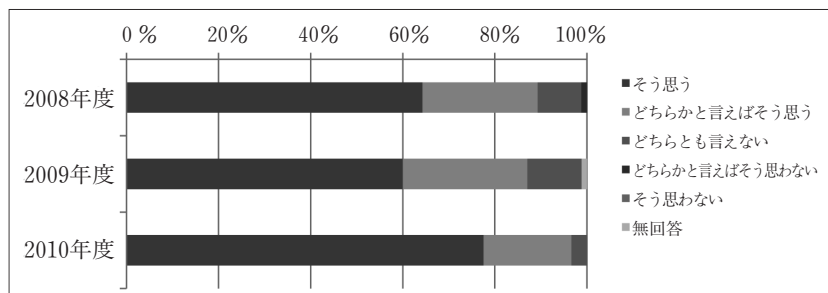
	そう思う	どちらかと言え ばそう思う	どちらとも 言えない	どちらかと言え ばそう思わない	そう思わない
2008年度	22 26.2%	35 41.7%	17 20.2%	5 6.0%	4 4.8%
2009年度	23 27.1%	32 37.6%	21 24.7%	3 3.5%	6 7.1%
2010年度	22 24.7%	34 38.2%	22 24.7%	5 5.6%	6 6.7%



クラスカル・ウォリス検定	
同順位補正 P 値 (上側確率)	0.8107

⑪英語で書かれた文学を読むことは英語の習得に役立つと思いますか？

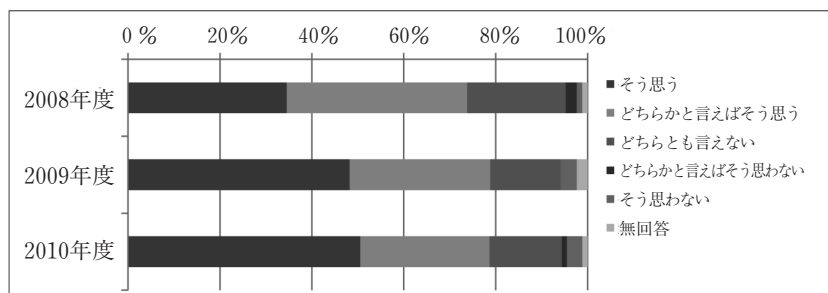
	そう思う	どちらかと言え ばそう思う	どちらとも 言えない	どちらかと言え ばそう思わない	そう思わない
2008年度	54 64.3%	21 25.0%	8 9.5%	1 1.2%	0 0.0%
2009年度	51 60.0%	23 27.1%	10 11.8%	0 0.0%	0 0.0%
2010年度	69 77.5%	17 19.1%	3 3.4%	0 0.0%	0 0.0%



クラスカル・ウォリス検定	
同順位補正 P 値（上側確率）	0.0288

⑫英米学科生に英米文学の基礎知識は必要だと思いますか？

	そう思う	どちらかと言えばそう思う	どちらとも言えない	どちらかと言えばそう思わない	そう思わない
2008年度	29 34.5%	33 39.3%	18 21.4%	2 2.4%	1 1.2%
2009年度	41 48.2%	26 30.6%	13 15.3%	0 0.0%	3 3.5%
2010年度	45 50.6%	25 28.1%	14 15.7%	1 1.1%	3 3.4%



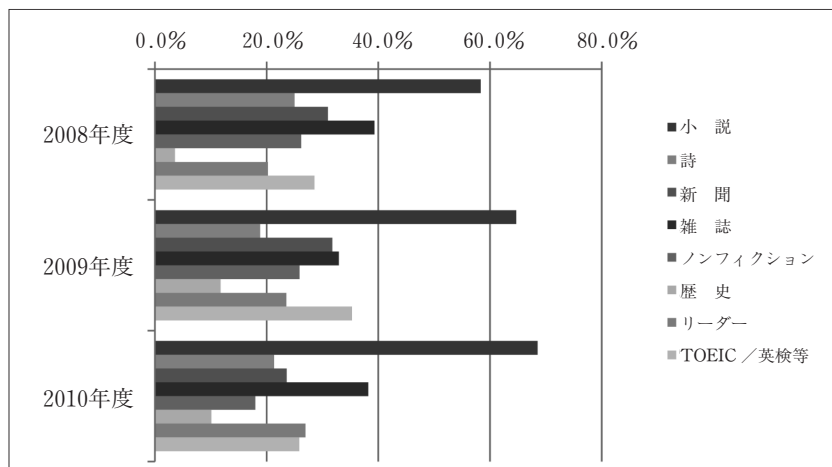
クラスカル・ウォリス検定	
同順位補正 P 値（上側確率）	0.1276

⑬英語で書かれたものを読むなら、どんなものが読みたいですか？（複数回答可）

	小 説	詩	新 聞	雑 誌	ノンフィクション
2008年度	49	21	26	33	22
	58.3%	25.0%	31.0%	39.3%	26.2%
2009年度	55	16	27	28	22
	64.7%	18.8%	31.8%	32.9%	25.9%
2010年度	61	19	21	34	16
	68.5%	21.3%	23.6%	38.2%	18.0%

	歴 史	リーダー	TOEIC / 英検等
2008年度	3	17	24
	3.6%	20.2%	28.6%
2009年度	10	20	30
	11.8%	23.5%	35.3%
2010年度	9	24	23
	10.1%	27.0%	25.8%

※リーダー：やさしい英語で書き直された本



$\chi^2$ 検定	
P 値（上側確率）	0.7281

## 4. 考 察

各項目について2008年度から2010年度新入生の意識を比較したが、検定結果からもわかるように二項目を除いて、入学年度によって意識の差はないということが明らかになった。②「英語を読むとき、和訳は必要ですか？」という項目に関しては、同順位補正 P 値 $=0.0086<0.05$ 、⑪「英語で書かれた文学を読むことは英語の習得に役立つと思いますか？」については、同順位補正 P 値 $=0.0288<0.05$ というように危険率 5 %で年度の間に有意差が見られる。

②「英語を読むとき、和訳は必要ですか？」という項目であるが、現在の中学校・高等学校における英語教育ではかつてのように英文全文を和訳するのではなく、できるだけ英語は英語で理解することが主流となりつつある。それに反し、和訳作業の必要性を感じる学生（「そう思う」「どちらかと言えばそう思う」と答えた者）が、2008年度では57.2%、2009年度は73%、2010年度では82%というように年々増加している。マン・ホイットニ検定をしてみると、

マン・ホイットニ検定	
	同順位補正 P 値（両側確率）
2008／2010	0.0022
2009／2010	0.4016
2008／2009	0.0414

というように2009年度と2010年度の間に有意差はないが、それぞれ危険率5%で2008年度との間には有意差が見られる。2009年度および2010年度新入生に、和訳の必要性がより強く感じられている。

⑪「英語で書かれた文学を読むことは英語の習得に役立つと思いますか？」については、「そう思う」「どちらかと言えばそう思う」と答えた学生が、2008年度は89.3%、2009年度は87.1%、2010年度は96.6%というように2010年度新入生はその数値が高い。しかもその96.6%のうち「そう思う」と回答した学生が77.5%を占めている。マン・ホイットニ検定をしてみると、

マン・ホイットニ検定	
	同順位補正 P 値 (両側確率)
2008／2010	0.0382
2009／2010	0.0107
2008／2009	0.6507

というように2008年度と2009年度の間には有意差はないが、2010年度は危険率5%で2008年度および2009年度との間に有意差が見られる。2010年度新入生に英語で書かれた文学を読むことは英語の習得に役立つという意識がより強く感じられている。

この二つの項目のアンケート結果から得られる結論は、昨今の大学英語教育の流れとある意味逆行するものである。かつては英語で書かれた文学作品を丁寧に和訳していくことが大学英語教育の主流であったが、近ごろは文学作品を扱った大学英語テキストは激減し、コミュニケーション重視の直読直解用のテキストが溢れている。和訳の必要性和文学作品を読むことの意義に対する意識は、年度進行にともない変化しつつあるようだが、2009年度と2010年度、もしくは2010年度だけの傾向であるのかを判断するためには、今後の継続調査が必要である。

2007年度調査結果と2008年度～2010年度調査結果を比較して新たな発見があったのは、どのような種類の英文を読みたい傾向にあるのかという点である。2007年度調査では「英語で書かれたものを読むなら、どんなものが読みたいですか？ 順位をつけてください」という形式で質問したところ、「雑誌」「ノンフィクション」「新聞」「リーダー」「文学作品」「歴史」という順で人気が高かった。2008年度からは「小説」「詩」というジャンルに変えて、「英語で書かれたものを読むなら、どんなものが読みたいですか？ (複数回答可)」という形式で質問したところ、年度に関係なく全体の傾向として「小説」の人気が最も高いという結果となった。確かに調査対象は英米学科生であるが、かつてのような英文学科生ではない。動機づけという観点に立てば、英語教育には小説などは不要であるという一般的な考えは性急な判断であろうと言える。重要な

のは、何を教えるのかではなく、いかに教えるのかではなかろうか。

**注**

- (1) 2007年度の調査結果については、拙論「文学と語学教育——佛教大学英米学科1回生対象の意識調査の分析」(佛教大学英文学会『英文学論集』第15号、2008年3月、49-68頁)参照。
- (2) 検定にあたっては、無回答は除外している。